

# なめがたをあるく



## 古代遺跡が今、蘇る！ 三昧塚古墳農村公園

三昧塚古墳農村公園



金銅製馬型飾付冠（複製）



倭武命像（ふれあいランド）



海老澤幸雄さん



復元された三昧塚古墳（市指定史跡）

小美玉市との境界付近の国道355号線沿いに、巨大な前方後円墳がそびえ立っています。平成15年（2003）に、全長85メートル、後円部高さ8メートルという、築造当時の大きさに復元された三昧塚古墳です。古墳の副葬品は、金銅製馬型飾付冠（こんどうせいいうまがたがりつきかんむり）をはじめ、耳飾り、鏡、装飾用の太刀、短甲や多数の埴輪などが確認され、これらの出土品のうち、茨城県立歴史館所蔵のものが、考古資料として茨城県指定有形文化財の指定を受けております。古墳の築造は、5世紀後半と推定され、行方市の代表的かつ当時の古墳文化を考察する際の重要な遺跡となっています。

今回、地元在住の郷土史家、海老澤幸雄さんに古墳の被葬者の姿や今後の古墳の活用方法について伺いました。三昧塚古墳が50年ぶりに復活再現されたことは、世紀の大事業であり誠にすばらしいことです。この古墳の被葬者は、全国的にも例のない金銅製馬型飾付冠を頭につけている20歳位の男子で、身長は162.5cm。耳飾りや太刀など副葬品は約2千点。霞ヶ浦東岸に勢力を張る政治的経済的な実力者で大和朝廷とつながりをもった有力首長であったと推察されます。常陸風土記に登場する倭武命（やまとたけるのみこと）と何らかの接点があるのではないかと思います。三昧塚古墳農村公園が、子どもたちの学習の場や観光の拠点となり、市民の憩いの場として親しまれる存在になることを期待します。」

古墳には階段が作られ、後円部から前方部まで行き来することが出来ます。公園内には、駐車場や案内板などが整備され、週末は、家族連れなどの見学者が多く訪れています。墳頂部から眺める夕日の美しさに感激したという方もいたそうで、皆さまも是非一度お立ち寄りください。

## ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます！

柏さん

（玉造第1保育園 保育士）

子どもたちが元気に健やかに成長できるように温かな保育を心がけています。

保育園では子ども

たちと保育士の元氣な笑い声が絶えません。子育て支援センター『たんぽぽ』も開設しています

ので、ぜひ遊びにいらしてください。



## 編集後記

市情報メール一斉配信サービス（メールマガジン）を開始しました。災害情報や不審者情報、イベント情報、子育て情報などを配信いたしますので、皆様の登録をお待ちしております。（保）

実は若かりし頃？三昧塚古墳の担当だった（保）係長と一緒に海老澤先生の取材に伺いました。教科書で習った遠い記憶でしか知らなかった『前方後円墳』がすこし身近なものに感じられました。（友）